

会 議 録

作成者 企画課 情報推進担当

1	会議の名称	上野原市情報通信基盤整備事業に関する専門委員会議
2	開催年月日	平成21年11月13日（金）
3	開催場所	上野原市役所 庁議室
4	出席者	専門委員 土屋治彦 氏（山梨大学特任教授） 黒田 充 氏（大阪経済大学非常勤講師） 仙波春雄 氏（新日本有限責任監査法人シニアパートナー） 上野原市役所 江口市長、小俣総務部長、水越企画課長 企画課情報推進担当 上原リーダー、山口、佐藤、杉本
5	議長(司会者)	企画課 上原リーダー
6	時間	午前9時～11時30分
7	会議の経過及び概要	1. 市長あいさつ 2. 自己紹介 3. 事業の概要並びに経過について 資料に基づき上原リーダーより説明 4. 座長選出 各専門委員の了承を得て、市長依頼により黒田氏に座長を選出 5. 質疑・協議（敬称略） （委員） この会の趣旨は、市としての負担が重くなるのでどうすべきかについて、方向性を出すための会であると理解しているが、そのためには金額的な確認をもう少ししたい。 市がUBCに貸し出しているものは光ファイバーケーブルと分岐のためのスプリッタで、それに対する使用料をUBCから得ているという理解で良いか。 また、設備の更新時の費用については、誰が負担するのか。現在でも白紙の状態であると考えてよいか。 （市） 市が貸し出しているものは光ファイバーと家庭内のONUまでで、IRU契約によりUBCから年間約2,500万円の使用料を得ている。それに対して市はUBCに保守管理を年間約1,800万円

議 の 経 過 及 び 議 事 の 概 要	7	で委託している。その他、東京電力などに電柱の共架料として約900万円を支払っている。
		差引きとして、市の実質負担額は約260万円となっている。
		(委員)
		IRU契約について、何に対する費用なのか。減価償却費は含まれているのか。
		(市)
		IRU契約には、減価償却費は含まれていない。減価償却費の想定分については、別途UBCと
		協定を結び、平成25年度から年間2,000万円ずつ、計4億円を市に納入してもらい、これを
		設備の更新の原資とする考えでいる。
		(委員)
		減価償却分をIRU契約に含めないで、別途協定を結んだ理由は何か。
		(委員)
		対価性がないものだと、市への寄付行為となる。あえてこのような形にしたのはなぜか。
		基本的な背景を教えてください。
		(市)
		IRU契約だけでなく、UBCと市で他に覚書や協定書を結んでいるが、それぞれの内容、経緯
		について、のちほど確認してお知らせする。
		(委員)
		貸し出している設備の範囲はどこまでか。
		(市)
		伝送路から各家庭への引込み線をへて家庭内のONU(白箱)までである。
	(委員)	
	IRU契約に貸し出している設備の範囲等が、図面を含めて入っていない。これはずさんな	
	のではないかと。きちんとしておかないといけないのでは。	
	(委員)	
	何かあったときに、きちんと明示しておかないとトラブルの元になる。	
	(委員)	
	光ファイバーの敷設は既に終わっているということでしょうか。そうすれば、今後かかるの	
	概はランニングコストだけか。	
	(市)	
	ランニングコストと将来の更新のための費用となる。ランニングコストとしては、保守料、	
	電柱共架料等で、IRU契約による収入から差し引いて、年間約260万円の支出になる。	

7 会 議 の 経 過 及 び 議 事 の 概 要	行政放送の委託料もコストに含めるとすると、これが年間約1,000万円程度となる。
	(委員)
	光ファイバーについては、その引き込み方法によって実際の耐用年数は異なってくる。将来の更新のための費用を求める場合は、現在の引き込み方法、また代替の引き込み方法など比較検討して試算する必要がある。
	(委員)
	UBCの収支見通しとして、4年目に単年度黒字化、9年目に累損解消と想定しているが、決算書を見る限りは、このとおりとはならないのでは、まだ事業を立ち上げてからの期間が短いこともあるが、実際の収入は加入料、利用料だけか、また前年度実際に加入料が入ってきたのはいつからになるか。
	(市)
	1・2期の工事が終了したのが20年9月のため、利用料の収入があったのはそれ以降だと思われる。現在は3期工事も終了しているので、加入者も約3,300世帯程度まで伸びてきていると報告を受けている。
	(委員)
	収入に対しての販売管理費の割合が非常に高い、現状の収入状況では、赤字解消は難しい。そういった意味では市の負担を600万円にとどめたのは正解である。この他に市がUBCに対して債務保証をしているというようなことはないか。
	(市)
	債務保証というようなことは確認していない。
	(委員)
	収入を増やすには加入者数を増やすしかないということだけに、加入者数は経営を判断する上での重要な要素となる。加入者数の推移と、計画との比較を示してもらいたい。
	(委員)
	UBCの収支見通しが楽観的な見込みになっていると思われる。現状と当初の見込みとを詳細に比較して、経営状況を確認したい。
	(委員)
NTTの光ファイバーが利用できる世帯がどれくらいあるか。またナローバンドしか利用できない世帯がどれくらいあるのか。テレビについては自宅にアンテナをたてれば見られる世帯はどれくらいあるのか。現状では東京波が見られる世帯がほとんどないとのことだが、実際はもっと見られるのではないか。また、現在現実的に地デジ対応をしている共聴組合や、今後	

7 会 議 の 経 過 及 び 議 事 の 概 要	<p>地デジ対応を行うことを表明している共聴組合がどれくらいあって、世帯数はどれくらいになるのか。コモアでは共聴組合が既に地デジ対応を行ったと聞いている。コモアではNTTの光ファイバーも利用できるのですが、UBCとしても最も稼がなければならないところで、競争相手があるということになる。これでは競争相手に対してはるかに安くてサービスがよいということではなければやっていけないのではないかと。</p> <p>(委員)</p>
	<p>この事業はもともと難視聴対策、デジタルデバイドの解消のために行った事業なのではないか。もともとそういう事業であると仮定すれば、背景等が変わっている中で、今後について市がどのような決意があるのかということではないか。NTTと対抗して行おうというような考えで、もともとやっているものなのではないのではないかと。</p> <p>(市)</p>
	<p>市内の情報格差是正というものは当時からの課題であり、それを目的としてきている。</p> <p>(委員)</p>
	<p>現状ではUBCは債務超過の状態である。今後事業を運営していくには増資か新規の借入れが必要になると思われる。事業を立ち上げて間もないとの事業があるが、今後の計画を慎重に確認する必要がある。</p> <p>(委員)</p>
	<p>今後5回程度会議を行うとのことだが、いつまでに結論を出せばよいのか。</p> <p>(市長)</p>
	<p>今年度内をお願いしたい。</p> <p>(委員)</p>
	<p>結論について報告書等をまとめるのか。</p> <p>(市長)</p>
	<p>ある程度のものをまとめていただきたい。</p> <p>(委員)</p>
	<p>会議の公開についてだが、公開が原則であるが、利害関係がある問題があるので、それについてどう考えるか。</p> <p>(委員)</p>
	<p>利害関係のある問題も含めて、突っ込んだ話を公平にしたいと思うので、それには公開はふさわしくないのではないかと。</p> <p>(市長)</p>

7 会 議 の 経 過 及 び 議 事 の 概 要	<p>会議自体は非公開で、会議後に内容について集約したうえで、委員の皆さんの確認を いただいて、会議録を市のホームページ上で公開することは可能か。</p>
	<p>(委員)</p>
	<p>それはぜひやるべきだと思う。そうでないと市としての姿勢がわからない。</p>
	<p>(委員)</p>
	<p>プロセスを市民に公開していくことは必要である。</p>
	<p>(市長)</p>
	<p>それでは会議後に担当で会議録をまとめ、みなさんに確認していただいた後にホーム ページに公開することとしたい。</p>
	<p>(委員)</p>
	<p>せっかくこれだけ委員がいるのだから、日程調整はたいへんだと思うが、できるだけ 多くの委員が参加できるようにしてもらいたい。</p>
	<p>(市)</p>
	<p>これから市のほうも議会があり、調整は難しいが、できるだけ皆さんの日程が合わせ られるよう調整する。</p>
	<p>(以上)</p>